

回復期リハビリテーション病棟増床

回復期リハビリテーション病棟とは？

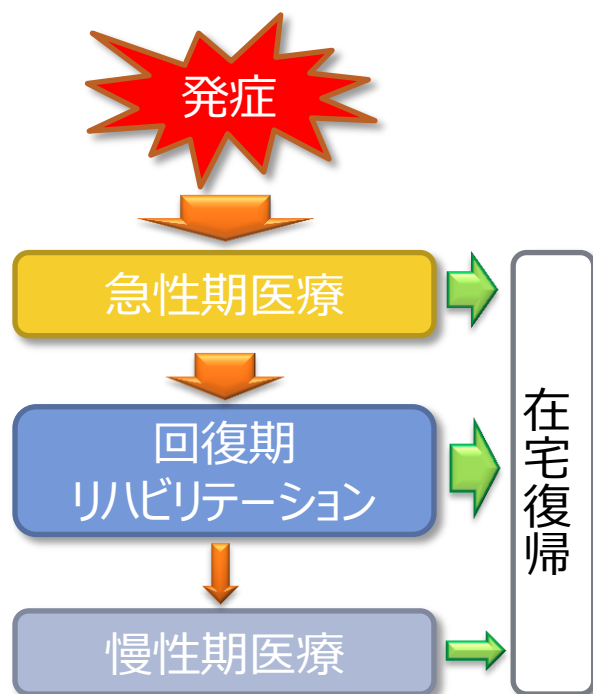
回復期リハビリテーション病棟（回り八病棟）とは、脳血管疾患、大腿骨頸部骨折などの患者様に対して、ADL（日常生活活動）能力の向上による寝たきりの防止と家庭復帰を目的とした集中的なリハビリテーションを実施することを目的とした専門病棟です。

病棟では、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などが共同で、それぞれの患者様に合ったプログラムを作成し、これに基づいて実生活での自立を目指したりリハビリテーションが実施されます。



当院の回復期リハビリテーション病棟は、リハビリテーション科スタッフと病棟スタッフが連携し、年中無休365日のリハビリテーションを実施しています。スタッフ一同、患者様に寄り添って、回復のお手伝いをさせていただきます。

今後も地域に密着した医療の提供と、さらなるケア技術の向上を目指してまいります。



県央地区の回復期リハビリテーション

新潟県県央地区において回復期リハビリテーション病棟を設置しているのは当院のみです。

もちろん、通院リハビリテーションなどを実施している病院やクリニックはありますが、入院して集中的に回復期のリハビリテーションを受けるとなると、当院のほかでは新潟市か長岡市の病院となります。

当院の回復期リハビリテーション病棟も満床になることが多く、地域の方々にご不便をお掛けすることが度々ありました。

近隣の主な回り八病棟



当院回復期リハビリテーション病棟の増床

このような県央地区の実態を踏まえ、当院が地域医療にさらに貢献するために、回復期リハビリテーション病棟を平成26年12月から20床増床しました。

これまでの4階病棟60床を、増床後は4階病棟40床、5階病棟40床の計80床で運営しています。

従来は、当院の脳神経外科や整形外科などの急性期（発症してすぐの治療期）の患者様が回復期リハビリテーションに移行するときのみを対象としていました。今後は空床状況を考慮しながらなるものの、他院での急性期治療が終わった方の受入にも取り組んでいく方針です。



看護師による食事介助



リハビリ職員による歩行訓練

地域医療に貢献するために

当院は基本理念に「信頼される医療を提供し、地域の人達のために貢献いたします」を掲げています。今回の回復期リハビリテーション病棟の増床もその一環で、地域ニーズに応えるためのものです。

今後も地域の皆様の声に耳を傾け、さらに貢献できるよう努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

